

まちづくり交付金 フォローアップ報告書  
小田原駅周辺地区

平成22年11月

神奈川県小田原市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	中心市街地流動客数	人/日	134,710	145,000	160,139	確定 見込み ●	○	あり なし	162,843	H22年 6月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	アクセシビリティの向上、バリアフリー化、空間の高質化等の推進により回遊性も向上し、目標を達成した。	
指標2	中心市街地における入込観光客数	人/年	2,505,724	2,600,000	3,127,411	確定 見込み ●	○	あり なし	3,018,874	H22年 9月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	上記に加え、歴史と文化をアピールする各種イベント開催等により、目標を達成できた。	
指標3	市民満足度調査における満足度	%	16.9	50.0	21.2	確定 見込み ●	×	あり なし ●	19.1	H21年10月	×	改善策として挙げた主要事業が未進ちよのため	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	計画実施の成果をアピールできる主要事業の進捗が図れず、他の指標とは異なる結果となった。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	おだわら市民活動サポートセンターの利用者数	人/年	16,339	/	18,160	確定 見込み ●	/	/	17,360	H21年 5月	/	利用人数レベルでは見込み値ほど伸びなかった。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	まちづくり活動団体への活動支援や地区内へのアクセス向上が、利用者増に寄与したと評価できる。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	H 年 月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	H 年 月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	交流人口の増加と観光拠点のネットワーク化による回遊性の向上	観光拠点の整備、観光案内機能の充実、イベント実施の強化	歴史文化という地区の個性を生かした取り組みを継続した。地区内を通るウォーキングコースを設定する等、回遊性の向上を図った。	ハード整備と、それらを生かし結びつけるソフト事業の一層の連携により、地区の面的な魅力を維持向上させる。
	駅周辺の都市基盤整備の充実	駅周辺道路の整備推進	お城通り(市道2216)において、歩車分離のための電線地中化、歩道整備を推進した。	未整備部分の整備推進を図る。
	住民活動への支援	住民活動支援事業の継続	「市民活動応援補助金」等の支援策を継続し、活動を支援した。サポートセンター利用者は、平成21年度実績でも増加し、18,526人を数えた。	市民活動の持続的発展のため、支援策の継続充実を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	まちづくりにかかる住民へのPR・啓蒙活動	定住人口の増加や景観意識向上のために、地域住民の勉強会への専門家の派遣等を実施	風景整備や勉強会による住民の景観意識の向上が図られた。定住人口増加に向け、研究を継続した。	一部の地区で成果が上がっているが、そのような地区の拡大を推進するために、まちづくりの意識向上・PR施策の充実を図る。
	駅周辺施設の早急な整備	市民ホール整備の推進 お城通り地区市街地再開発事業の推進	検討組織を設け、今後の基本方針等を再検討した後、駅周辺の拠点施設として、諸調整を図りながら引き続き各々の事業を推進している。	条件整備を着実に進めつつ、早期の事業完成を目指していく。
	集客性のある地下街の再生	地下街の再活用を図るための検討	検討組織を設け、今後の基本方針等を決定し、活性化に資する場として再活用の条件整備を図っている。	条件整備を進めながら、効果の高い再活用を図っていく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
追加なし			